

第1回陸上競技場兼サッカー場及び体育館基本構想検討委員会 議事要旨

1. 日時 平成21年1月30日(金) 10:00 ~ 11:15
2. 場所 栃木県庁本館6階 大会議室2
3. 出席者 委員 漆原委員(会長)、中村委員、黒後委員、星野委員、坂本委員、秋山委員、
五家委員

欠席者なし

4. 開会

- (1)小曾戸スポーツ振興課長によるあいさつ
- (2)委員の自己紹介
- (3)事務局の自己紹介

5. 議事

- (1)「陸上競技場兼サッカー場及び体育館の整備検討経過について」事務局から説明。
- (2)「基本構想策定について」事務局から説明。
- (3)「基本構想検討委員会の設置について」事務局から説明。
委員の互選により、会長として漆原委員が選任された。
- (4)「策定スケジュール及び審議事項(案)について」事務局から説明。
委員からの意見はなし。
- (5)「陸上競技場兼サッカー場及び体育館の基本理念・基本方針(案)等について」事務局から説明。
委員からの意見は6のとおり。
- (6)その他
次回の委員会の日程については、調整の上、後日各委員に連絡することで了承。

6. 委員からの主な意見等

- ・「スポーツの象徴、本県の象徴、スポーツ施設のシンボル」と様々な表現があるが、言葉を統一した方が良い。県民の誇りとなるという趣旨に統一する方がわかりやすい。
- ・多目的に利用できる施設とあるが、集客率の点や親しみやすさという観点から考えるととても重要。使いやすく親しめる施設にしてほしい。
- ・観戦しやすい施設が良い。サッカー観戦に行くと、観戦しやすい施設と観戦しにくい施設がある。
- ・高齢者などが集まりやすい施設を希望する。また、トップアスリートの練習が見える施設がよい。
- ・目的地にスムーズに行けるよう、中の動線を大事にしてほしい。
- ・武道館、弓道場、体育館といった施設は、シンボルとなる施設を整備してほしい。
- ・駐車場の問題等もあるが、効率的な利用を考えると、施設を集中させたほうが利用しやすい。
- ・スポーツゾーンの中に、栃木県を代表するそれぞれの競技の施設が全部あることが理想的である。